

統合科目	歯の解剖学
------	-------

[講義] 第3学年 後期 必修 4単位

《担当者名》歯学部講師 / 建部 廣明

【概要】

歯の形態学的特徴とその異常、歯列や咬合に関する基礎知識を整理する。

【学修目標】

歯の解剖学で学んだ知識の再確認と整理を通して、歯の形態、歯列や咬合に関して臨床でも応用できるよう理解を深める。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	永久歯の形態と特徴	- 歯の交換と生歯について学ぶ。 - 歯の内部構造および根管の分岐、側枝を学ぶ。 教科書P.78-81 - Mühlreiterの三徴（隅角徴、湾曲徴、歯根徴）を学び、歯の近遠心の見分け方を習得する。 教科書P.81-82	建部 廣明
2	特色ある歯の形態	典型的な形態とは異なる形状を示す部位の名称とその形状が好発する歯を整理する。	建部 廣明
3	特色ある歯の形態（復習）	歯数の過剰・不足の出現部位を整理する。	建部 廣明

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

卒業試験 100%

【教科書】

「歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 全国歯科衛生士教育協議会監修 医歯薬出版

【学修の準備】

1年次の授業で用いたプリント冊子に目を通し（60分）、授業の際には持参すること。

【実務経験】

建部 廣明（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

歯科医師としての実務経験をもとに、臨床に生きる講義を実践している。